

# 第2次亀山市総合計画の始動

## ～愛着と幸福実感あふれるまちをめざして～

平成29年新春、市民の皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中は市政各般に深いご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

さて、去年は伊勢志摩サミットが開催され、「2016年ジュニア・サミット in 三重」の県内分散型体験・交流行事では、G7各国の高校生が関宿を訪れました。本市の小・中学生にとりましても、伊勢志摩サミット給食や関宿でのお迎えなどを通して諸外国への興味を深め、国際交流の大切さを学ぶこととなりました。

一方、少子超高齢社会の進展や人口減少社会という、大きな社会構造の転換点を迎えるなか、地域コミュニティのしくみづくりとして、「地域まちづくり協議会」の設立を全市的に進めてまいりましたが、昨年4月には「亀山市地域まちづくり協議会条例」が施行され、5月には市内全22地区でまちづくり協議会が設立されました。

本市は、新市施行から12年余り歩んできましたが、環境変化に適応し持続的に成長し続けるまちでありたいと願っています。そのためには、本市の自然や歴史文化、力強い市民・地域活動など、特性を活かしたまちづくりを磨きあげる必要があります。

そのようななかで、来る平成29年度は、次の中長期計画となる「第2次亀山市総合計画」が始動いたします。本市の今日までの歩みを礎とし、確かな将来展望に基づき積極果敢にチャレンジしてまいりたいと考えています。

清々しい元旦を迎え、「都市の持続的成長」と「愛着と幸福実感の向上」の実現に向け、着実に歩みを進めてまいりますので、尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆さまにおかれましては、ご健勝で幸多き年となりますことをお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

平成29年新春 亀山市長